*（提出に当たり、本ページは削除してください。）*

スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）

令和７年度公募 提案書

作成時の留意事項

|  |
| --- |
| １．提案書（提案書別紙を含む）は、それぞれ所定の様式を用いて作成してください。非該当項目を削除するよう指示している箇所を除き、様式の改変は行わないでください。２．提案書様式の構成は次ページで確認してください。３．作成に当たっては、**公募要領**を必ず確認してください。また、各様式内の青文字（記載例及び記載に当たっての留意事項）もよく確認の上で作成してください。４．原則、10.5ポイントの明朝体で記載してください。５．ページ数（○ページ以内）を指定している項目は、ページ数を厳守してください。６．ページ数に制限のない項目においても、ページ数が過多にならないよう、簡潔明瞭で理解しやすい記載を心がけてください。７．記載に該当しない項目及び様式は削除してください。 |

**〇　作成した提案書（提案書別紙を含む）は、青文字（記載例及び記載に当たっての留意事項）及び不要な項目等を削除したことを確認したのち、最後尾に「添付書類」と「応募書類チェックリスト」を加えて１つのPDFファイルとし、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）にて提出してください。**

**〇　e-Radでの提出（応募手続き）の詳細は、公募要領「４ 応募手続き」及び公募要領別紙１を参照してください。e-Radに必要事項を入力の上で、上記PDFファイルをアップロードしていただくことになります。**

*（提出に当たり、本ページは削除してください。）*

*（提出に当たり、本ページは削除してください。）*

提案書様式の構成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 【提案書様式】 | スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）令和７年度公募　提案書 | 【必須】 |
| 提案書別紙１ | 研究代表者、研究実施責任者の研究業績等 | 【必須】 |
| 提案書別紙２ | 研究費の応募・受入等の状況 | 【必須】 |
| 提案書別紙３ | これまでに受けた研究費とその成果 | 【必須】 |
| 提案書別紙４ | 情報管理実施体制 | 【必須】 |
| 提案書別紙５ | 研究倫理に関する誓約書 | 【必須】 |
| 提案書別紙６ | データマネジメントプラン | 【必須】 |
| 提案書別紙７ | 研究管理運営機関を活用する理由書 | 【該当研究課題のみ】 |
| 提案書別紙８ | オープン API の要件化に係る確認事項 | 【該当研究課題のみ】 |
| － | 出資を受けた実績の証拠書類 | 【該当研究課題のみ】 |

※【必須】となっている様式は、必ず提出してください。

※【該当研究課題のみ】となっている様式は、該当する研究課題のみ提出してください。

※ それぞれの様式内の青文字（記載例及び記載に当たっての留意事項）をよく確認の上で作成してください。

※ 本プログラムへの応募は、「府省共通研究開発管理システム(e-Rad)」で行ってください。他の方法（郵送、E-mail、持ち込み等）での応募は一切受け付けません。e-Radでの応募手続きの詳細は、公募要領「４ 応募手続き」及び公募要領別紙１を参照してください。

*（提出に当たり、本ページは削除してください。）*

【提案書様式】

**スタートアップ総合支援プログラム（SBIR支援）令和７年度公募　提案書**

　令和○年〇月〇日提出

**Ⅰ　基本情報**

※ １～４、及び５のうち代表機関名・研究代表者名は、応募課題が採択された場合、生研支援センターのウェブサイトで公表します。

※　本プログラムにおける取組内容がわかるような研究課題名を記載してください。

（原則フェーズ０～事業化準備フェーズの間に研究課題名を変更することがないようにしてください。）

**１．研究課題名**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**２．研究課題の概要**（150文字）

※ 研究課題の概要を**150文字以内**で記載してください。

※ この「研究課題の概要」は、応募課題が採択された場合に生研支援センターのウェブサイト等で公表しますので、公表に差し支えない内容で記載してください。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募する研究開発テーマ（公募要領２（１））を１つ選択してください。

（１）農林漁業者の高齢化や担い手不足等、生産現場の課題解消

（２）農林水産物の加工・流通の合理化・迅速化

（３）農林水産業・食品産業の可能性の拡大と成長の推進

（４）農林水産業・食品産業の高い生産性と持続可能性の両立の実現

**３．研究開発テーマ**

（○）○○○○○○○○○○○○○

**４．キーワード**

※ 提案内容に係るフリーキーワードを記載してください。

　　○○○○○、○○○、○○○○○

**５．応募フェーズ**

※ 応募するフェーズに〇を付けてください。

※ 公募要領２（２）の「各フェーズの詳細」をよく確認してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | フェーズ０（発想段階） |
|  | フェーズ１（構想段階） |
|  | フェーズ２（実用化段階） |
|  | 事業化準備フェーズ |

**６．応募者**

（１）応募者（代表機関）

|  |  |
| --- | --- |
| 代表機関 | ○○大学 |
| 住所 | （〒　　）○○県○○市○○区○○町○○番地 |
| 主たる研究拠点 | ○○大学　○○研究所○棟 |
| 住所 | （〒　　）○○県○○市○○区○○町○○番地 |
| 研究代表者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |
| 経理責任者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |

（２）共同研究機関

※ 共同研究機関の有無や数に応じて、欄を追加/削除してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 共同研究機関① | 株式会社○○（本社） |
| 住所 | （〒　　）○○県○○市○○区○○町○○番地 |
| 主たる研究拠点 | 株式会社○○　○○研究所 |
| 住所 | （〒　　）○○県○○市○○区○○町○○番地 |
| 研究実施責任者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |
| 経理責任者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 共同研究機関② | 株式会社○○（本社） |
| 住所 | （〒　　）○○県○○市○○区○○町○○番地 |
| 主たる研究拠点 | 株式会社○○　○○研究所 |
| 住所 | （〒　　）○○県○○市○○区○○町○○番地 |
| 研究実施責任者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |
| 経理責任者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |

（３）研究管理運営機関

※ 研究管理運営機関を設置する場合は、本欄の記載とともに、「研究管理運営機関を活用する理由書（提案書別紙７）」の提出が必要となります。詳細は公募要領３（４）を確認してください。

※ 研究管理運営機関を設置しない場合は、欄ごと削除してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究管理運営機関 |  |
| 住所 | （〒　　） |
| 代表者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |
| 経理責任者 | 部署・部局 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  | (ｶﾅ)　 |
| 電話番号 |  | E-mail |  |

**７．****経費**

（１）試験研究計画全体　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 直接経費 | 費目 | 細目 | 2025年度 | 2026年度 | 計 |
| 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |
| 2.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |
| 直接経費計 |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の30%以内） |  |  |  |
| 委託費合計（直接経費＋間接経費） |  |  |  |

注１）１年度の実施計画の場合は、2025年度の欄のみ記載し、2026年度の欄には「－」（該当しない旨を示すバー）を記載。

注２）委託費合計の上限は、フェーズ０及び１が上限1,000万円/年度、フェーズ２が上限2,000万円/年度、事業化準備フェーズが上限3,000万円/年度（ただし、事業化準備フェーズは応募時点から遡って過去３年以内にVC等からの出資を受けている金額と同額以内）。

（２）研究機関別内訳

＜代表機関：○○○○＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 直接経費 | 費目 | 細目 | 2025年度 | 2026年度 | 計 |
| 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |
| 2.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |
| 直接経費計 |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の30%以内） |  |  |  |
| 委託費合計（直接経費＋間接経費） |  |  |  |

注）１年度の実施計画の場合は、2025年度の欄のみ記載し、2026年度の欄には「－」（該当しない旨を示すバー）を記載。

＜共同研究機関①：○○○○＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 直接経費 | 費目 | 細目 | 2025年度 | 2026年度 | 計 |
| 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |
| 2.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |
| 直接経費計 |  |  |  |
| 間接経費（直接経費の30%以内） |  |  |  |
| 委託費合計（直接経費＋間接経費） |  |  |  |

注）１年度の実施計画の場合は、2025年度の欄のみ記載し、2026年度の欄には「－」（該当しない旨を示すバー）を記載。

※ 共同研究機関の有無や数に応じて、表を追加/削除してください。

＜研究管理運営機関：○○○○＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 直接経費 | 費目 | 細目 | 2025年度 | 2026年度 | 計 |
| 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  | ※ 研究管理運営機関を置かない場合は、表を削除してください。 |
| 2.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |
| 3.旅　費 | 旅　費 |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |
| その他（外注費以外） |  |  |  |
| 直接経費計 |  |  |  |
| 一般管理費（直接経費の15%以内） |  |  |  |
| 委託費合計（直接経費＋一般管理費） |  |  |  |

注）１年度の実施計画の場合は、2025年度の欄のみ記載し、2026年度の欄には「－」（該当ない旨を示すバー）を記載。

（改ページ）

**８．実施体制及び役割**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| － | 研究機関名 | 役割分担 |
| 代表機関 | ○○○株式会社 | 代表機関として全体総括及び調整を担う。知財に関する・・・を行うとともに、・・・を通じて研究開発成果の事業化を目指す。・・・を目的として、・・・の解析や・・・技術の開発を実施するとともに、・・・のための・・・技術を開発する。・・・の事業モデルを想定した上で、・・・を内容とするFSとPoCを実施する。また、・・・の実施を通じて知財戦略を確立し、・・・の事業モデルを構築する。・・・に対して無償のテストマーケティングを行い、・・・を検証する。 |
| 共同研究機関 | 〇〇大学 | 代表機関が開発した・・・技術について、・・・のために現地実証を行う。また、・・・・適用性を評価するとともに、・・・の改善点を抽出する。 |
| （国研）○○機構○○研究センター | ・・・技術によって収集した・・・データを格納・分析する・・・を開発する。また、・・・のための実証試験を実施する。 |
| 研究管理運営機関 | ○○センター | 代表機関に代わって、委託契約事務や委託費配分等に係る経理執行業務を行う。 |

※ 共同研究機関と研究管理運営機関の欄は、当該機関の有無や数に応じて、欄を追加/削除してください。

（改ページ）

**９．実施体制図**

※ 代表機関、共同研究機関がどのような関係性をもって応募課題を実施するのかについて、図で分かりやすく記載してください。（下図は記載のイメージです。）

※ 単独機関（代表機関のみ）の場合も記載してください。

※　「協力機関」（委託業務に協力する第三者）を置くことはできませんので、代表機関、共同研究機関及び研究管理運営機関以外は、下図に記載しないでください。なお、外注（本プログラムの遂行に当たり、業務内容の本質的な部分以外の必要な請負業務を、仕様書に基づいて第三者に行わせること）は可能ですが、外注先はコンソーシアム（研究グループ）には入らないため、記載しないでください。

【研究グループ（複数機関）の記載例】

【代表機関】

○○株式会社

・全体総括及び調整

・〇〇に影響を及ぼす●●化合物の合成

・○○のための●●技術の開発

・試作品○○の開発

・〇〇の知財戦略や事業モデルを踏まえた事業計画の策定

　　　　　　…等

【共同研究機関】

○○大学

・●●化合物が○○の○○に及ぼす影響等の解析

・●●技術の現地実証、評価、改善点の抽出

・試作品○○の実証と改良

・〇〇から取得したデータの分析

　　　　　　　　…等

研究グループ

●●化合物の提供

○○に係るデータの提供

試作品○○の提供

○○に係るデータの提供○○の実証結果・評価等のフィードバック

【単独機関の記載例】

【代表機関】

○○株式会社

・〇〇に影響を及ぼす●●化合物の合成

・○○のための●●技術の開発

・○○に係るデータの解析

・○○を内容とするFS、PoCの実施と、それを踏まえた有望な事業モデルの構築

　　　　　　…等

（改ページ）

**10．研究組織（研究代表者、研究実施責任者、主たる研究実施者等）**

**【代表機関】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属研究機関部局職名 | 現在の専門学位（最終学歴）役割分担 |
| 研究代表者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 主たる研究実施者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○※「主たる研究実施者」は、研究活動に実際に従事し、当該研究活動に係る明確な役割及びその実施に責任を有する者のうち主たる者を記載してください。※**「SAC候補者」は、スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）を配置して応募する場合には必ず記載してください。**なお、「研究代表者」や「主たる研究実施者」がSAC候補者の場合は**再掲**してください。※**「SAC候補者」は代表機関に所属し、研究開発とともに事業化の取組にも積極的に関わり貢献することが必要です。また、公募要領３（３）をよくご確認ください。**※ 欄が不足する場合は、欄を追加した上で記載してください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 主たる研究実施者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| SAC候補者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

**【共同研究機関】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属研究機関部局職名 | 現在の専門学位（最終学歴）役割分担 |
| 研究実施責任者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 主たる研究実施者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○※ 「主たる研究実施者」は、研究活動に実際に従事し、当該研究活動に係る明確な役割及びその実施に責任を有する者のうち主たる者を記載してください。※ 欄が不足する場合は、欄を追加した上で記載してください。※ 共同研究機関の有無や数に応じて、表を追加/削除してください。○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 主たる研究実施者 | ○○ ○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

（改ページ）

**11．応募要件に関する自己申告**（公募要領３関係）

（１）公募要領「３ 応募要件等」を確認の上、該当する項目の右欄に○を付けてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 要件 | 内　容 | 代表機関 | 共同研究機関 |
| 本プログラムの対象 | 革新的な研究開発に取り組む研究開発型スタートアップ等（起業前の研究者を含む）が事業化を目指して取り組む研究課題である。 |  |  |
| 応募者（代表機関）は①～⑦、共同研究機関は①～⑥をすべて満たすこと。 |
| ① | ア、イ、ウのいずれかに該当(該当する欄に○) | ア　日本に登記されている、原則設立15年以内の中小企業者である（ただし、みなし大企業は除く）。 |  |  |
| イ　経済産業省の「J-Startup」プログラムにおいて選定されたJ-Startup又はJ-Startup地域版の選定スタートアップである。 |  |  |
| ウ　国公私立大学、大学共同利用機関法人、国公私立高等専門学校、独立行政法人（国立研究開発法人等）、地方独立行政法人、公設試験研究機関、公益・一般法人、NPO法人、協同組合のいずれかで、**研究代表者が起業を予定している**。 |  |  |
| 共同研究機関 | 日本に登記されている法人であり、本プログラムに係る事業化は行わない。 |  |  |
| ② | 主たる研究開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有する。 |  |  |
| ③ | 研究実施に必要な要件（※）を満たす機関（研究機関）である。（※）研究体制、研究員、設備、事務管理等の能力・体制、経理処理能力・体制、連絡調整能力、委託契約の能力・体制等を有すること |  |  |
| ④ | 委託契約の締結に当たり、生研支援センターが提示する委託契約書に合意できる。 |  |  |
| ⑤ | 本プログラムに関わる者に関して、前職の離職時に前職と結んだ念書・誓約書等の制限条項に抵触していない。 |  |  |
| ⑥ | 反社会的勢力、あるいはそれに関わる者との関与がない。 |  |  |
| ⑦ | 令和７・８・９年度農林水産省競争参加資格（全省庁統一資格）の「役務の提供等（調査・研究）」の区分の有資格者である。 | 取得済み |  |  |
| 未取得（取得予定） |  |  |

※ 詳細は、公募要領「３ 応募要件等」を参照してください。

（２）スーパーアグリクリエーター候補者の配置（公募要領３（３）関係）

　　該当課題のみ記載

　　「スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）」を配置して応募している場合、下欄の①及び②を記載してください。ただし、スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）が研究代表者である場合は、②の記載は「研究代表者氏名（所属）」欄のみで結構です。

[注１] スーパーアグリクリエーターの定義や応募要件等の詳細については、公募要領３（３）「スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）を配置して応募する場合の要件」をよく確認してください。

　[注２] 「スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）」は、応募時点で、下記のⅰ）からⅳ）をすべて満たすことが必要です。

　ⅰ）農林水産・食品分野の課題解決やイノベーション創出に高い志と熱意を有すること。

　ⅱ）応募者（代表機関）に所属し、今回応募している研究課題（応募課題）の研究従事者として本提案書の「Ⅰ－10.研究組織」に記載されている研究者であって、研究開発とともに事業化の取組にも積極的に関わり貢献する者であること。

　ⅲ）令和７年４月１日時点で39歳以下の研究者、又は、令和７年４月１日時点で42歳以下であって、出産・育児・社会人経験等により研究に従事していない期間を差し引くと39歳以下になる研究者であること。

　ⅳ）審査によりSAC候補者として選定され、かつ応募課題が採択された場合、採択後（１年度目）に実施されるスーパーアグリクリエーターの発掘・能力向上支援のための各種メニュー（研修、セミナー、メンタリング等）に参加し、熱意をもって取り組むことを約束できること。

　[注３] SAC候補者の配置は、**応募課題につき、原則１名**としますが、上記の[注２]を満たす者が複数名いる場合はこの限りではありません。**下欄の①②は、SAC候補者ごとに記載する**必要がありますので、候補者を複数名配置する場合は、下欄①②の欄を追加の上で、同様に記載してください。

[注４] 上記の[注２]及び[注３]を満たさない場合、「スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）を配置しなかった応募課題」とみなします。（すなわち、SAC候補者としての適性を審査されることもありません。）

[注５] 上記の[注２]及び[注３]を満たしている場合は、別紙２「審査項目及び審査基準」の審査項目８によりSAC候補者としての適性が審査されますが、SAC候補者として認められるか否かは、審査項目８の評点や応募課題の採択可否により決まりますのでご留意ください。詳細は公募要領３（３）をご確認ください。

　**①スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）の記載欄**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 〇〇　○○ | 生年月日 | S/H〇〇.〇.○ |
| 年齢 | 〇〇 歳（R7.4.1時点） | 研究に従事していない期間 | H〇〇.〇.○ ～ R○.○.○ |
| 所属 | 〇〇○○○○○　　※代表機関に所属していることが要件。上記の[注２]ⅱ）参照。 |
| １）農林水産・食品分野の課題解決やイノベーション創出に向けた問題意識２）自身の技術開発力 ３）１）の解決のため、自身もしくは応募課題として保有する技術シーズをどのように活用し、応募課題において自身はどのような役割を果たすのか（「研究開発」及び「事業化の取組」の両面から要記載）４）自身が目指す将来の姿（スーパーアグリクリエーターとしての人物像）等について、**2,000字以内**で記載してください。 |
| ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・・・※ 公募要領３（３）「スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）を配置して応募する場合の要件」をよく確認の上、記載してください。 |
| 【支援メニューへの取組についての誓約】私は、応募課題が採択され、スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）として認められた場合、採択後（１年度目）に実施されるスーパーアグリクリエーターの発掘・能力向上支援のための各種メニュー（研修、セミナー、メンタリング等）に参加し、熱意をもって取り組むことを誓約します。令和〇年〇月○日　　　　　　　　　氏名　○○　○○ |

　**②研究代表者の記載欄**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究代表者氏名（所属） | 〇〇　○○（○○○○○○） |
| ①の人物のスーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）としての適性・有望性、将来的に期待する姿などについて、応募課題における①の人物の役割（研究開発及び事業化の取組の両面から）と関連付けながら、**400字程度**で簡潔に記載してください。 |
| ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・・・ |

※ スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）を複数名配置する場合は、上記の**①及び②の欄**を**人数分追加**の上で、同様に記載してください。

※ 研究代表者による記載欄です。当該候補者がいかに高い志や熱意をもっているか、応募課題の研究面にも事業化の面にも貢献できる人物か、などが分かるように、簡潔明瞭に記載してください。

※ スーパーアグリクリエーター候補者（SAC候補者）が研究代表者である場合は、研究代表者氏名（所属）欄の記載のみで結構です。ただし、「氏名・所属」の記載の末尾に**（SAC候補者と同じ）**と追記してください。

<記載例> 生研太郎（生研株式会社）（SAC候補者と同じ）

（３）みどりの食料システム法との関連性（公募要領６（３）①関係）

環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和４年法律第37号。みどりの食料システム法。）に基づき「基盤確立事業実施計画」の認定を受けた者が代表機関または共同研究機関に含まれる研究課題である。なお、「基盤確立事業実施計画」の「認定を受けた」とは、当該計画が認定され、以下の農林水産省ホームページに掲載されているものをいいます。

【基盤確立事業実施計画の認定状況及びみどり投資促進税制の対象機械について】

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midorihou\_kibann.html

□はい　　　□いいえ　　　　← 該当する方を■にしてください

「はい」を■とした場合、認定を受けた「基盤確立事業実施計画」について、上記ホームページの内容を以下に転記してください。

認定日：○年○月○日

認定基盤確立事業者の名称：○○○○○○○○○○

（４）連結型の指定補助金等への該当（フェーズ２限定）（公募要領６（３）②関係）

　　該当課題のみ記載

　　他省庁、他FAにおけるSBIR事業（指定補助金等の交付等に関する指針（令和６年６月４日閣議決定）の別表に掲げる指定補助金等のうち、本プログラムを除くもの）のフェーズ１を令和６年度末に終了する研究課題が、今回、本プログラムのフェーズ２に応募する場合、下表に当該フェーズ１の研究課題情報を記載してください。

　※　国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）プロジェクト推進型SBIRフェーズ１支援」及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「SBIR推進プログラム」における農林水産省がニーズ元の研究課題を令和６年度に終了する連結型（共通トピックによるもの）研究課題のみが対象となります。この場合、本プログラムのフェーズ２を選択して応募してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 省庁／FA名称 | 事業名 | 研究課題名 | 代表機関（研究代表者） |
| 〇〇〇〇 | 令和〇年度〇〇〇〇〇〇〇〇〇事業 | 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇〇（〇〇〇〇） |

（５）スマート農業技術活用促進法に基づく開発供給実施計画との関連性（公募要領６（３）③関係）

提案書の内容が、農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律（令和６年法律第63号。スマート農業技術活用促進法。）第13条第4項に基づく認定を受けた開発供給実施計画の内容の全部又は一部に即しており、かつ、代表機関または共同研究機関に当該開発供給実施計画の認定者（代表者）が含まれる研究課題である。

　※農林水産省農林水産技術会議事務局研究推進課における確認が必要となり、認められない場合は加点措置を受けることはできません。

□はい　　　□いいえ　　　　← 該当する方を■にしてください。

（改ページ）

**12.　応募企業に関する情報**（提出日時点）　【代表機関が企業である場合に記載】

※ 代表機関が中小企業（J-Startup 又はJ-Startup地域版の選定スタートアップを含む）の場合に記入してください。それ以外は、12.は削除してください。

（１）会社概要

① 応募者名（法人名）：　○○○○○株式会社

　② 法人番号：　13桁の番号

③ 代表者名：　○○○○

④ 設立年月日： ○○○○年○月○日（西暦で記入）

⑤ 資 本 金：　○○○千円（法人設立時　○○○千円）

⑥ 役 員 数：　○○人

⑥ 従業員数：　○○人　（うち研究開発部門　○○人）

⑦ 会社URL：　https://〇〇〇〇・・・

（２）会社沿革

※ 法人の沿革（設立以降の名称、所在地、資本金等の事業活動に関する沿革）を簡潔に箇条書きで記載してください。また、上記（１）⑦の会社URLがない場合は、会社案内（pdf）を提案書様式の添付書類として提出してください。

（３）代表者略歴

（４）主たる事業内容

（５）売上高（直近３年）

令和○（２０○○）年度：○○○万円

令和○（２０○○）年度：○○○万円

令和○（２０○○）年度：○○○万円

（６）役員

①役員名と役員種別

ア　生研　太郎（代表取締役）

イ　生研　次郎（取締役）

ウ　生研　三郎（監査役）

※ ①の役員のうち、兼務している役員については、下表に記載してください。

エ　○○　○○（○○○）

②役員の兼務

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 役員名 | 兼務機関名 | 兼務機関での役職 | 勤務形態 |
| 生研　太郎 | 〇〇大学○○学部 | 教授 | 常勤or非常勤 |
| 生研　次郎 | ㈱〇〇〇〇〇 | 執行役員 | 常勤or非常勤 |
|  |  |  |  |

（７）出資等の状況

※ 上位５者までの株主を記載してください。

※ VC等からの出資を受けている場合は、上位５者の他もすべて記入ください。

① 株主構成

ア　(株)生研　 　　（持株比率　○○％、議決権比率　○○％）

イ　生研　太郎　 　（持株比率　○○％、議決権比率　○○％）

ウ　(有)セイケン 　（持株比率　○○％、議決権比率　○○％）

エ　○○○(株)　 （持株比率　○○％、議決権比率　○○％）

オ　△△△(株)　 （持株比率　○○％、議決権比率　○○％）

カ　●●●キャピタル 　（持株比率　○○％、議決権比率　○○％）

② VC等から出資を受けた実績

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 契約年月日 | 引受元 | 出資額（円） | 取得株数 | 根拠資料番号（※事業化準備フェーズに応募する研究課題のみ記載） |
| 2024年7月5日 | ○○○(株) |  |  | 資料１ |
| 2023年3月5日 | ●●●キャピタル　 |  |  | 資料２ |
| 2020年8月15日 | △△キャピタル |  |  |  |
|  |  | ※ 応募時点でVC等から受けた出資実績をすべて記載してください。※ 事業化準備フェーズに応募する研究課題は、出資の証拠書類として、契約書（株式引受契約書、株式譲渡契約書等）の写しを添付してください。また、添付の際に、資料番号を付して、当該番号を表中に記載してください。なお、委託費の上限として認められるのは**応募日から遡って過去３年以内**に獲得された出資額の総額です。 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 株主企業名 | 大企業・中小企業の区分 | 資本金額（千円） | 従業員数（人） | 主たる業種 |
| (株)生研 | 大企業 | 1,000,000 | 1,500 | 製造業 |
| (有)セイケン | 中小企業 | 10,000 | 30 | サービス業 |
| ○○○(株) | 中小企業 | 200,000 | 300 | 卸売業 |
|  | 　 | 　 | 　 | 　 |
|  | 　※　個人投資家も資金管理団体等を通して投資する場合は業として投資をしているとみなします。 | 　 | 　 | 　 |

③株主のうち、法人株主について、以下の表に記載してください。

（８）事業内容と、今回応募する研究開発（及び事業化に向けた取組）の内容との関連性

※ 公募要領２（２）のとおり、提案内容の要件として「研究開発内容は、まだ事業化されていない内容であること。」があります。よって、貴社の事業内容（これまでの売上、販売実績等）が、本提案で事業化しようとする内容とは異なることが明確に分かるように説明してください。

（改ページ）

**Ⅱ　応募内容の要旨**

※ 応募内容の要旨として、３枚以内で記載してください。

**１．応募内容**

|  |
| --- |
| （１）背景、目的（詳しくは→Ⅲ-１（p.○～）） |
| ア　農林水産・食品分野において解決すべき課題、ニーズ（研究開発テーマとの関連性）　※ 各項目について、200～250文字程度で簡潔明瞭に記載してください。※ →（p.〇～）には、各項目の詳細内容が記載されているページ番号を記載してください。イ　本研究課題の目的ウ　事業化による農林水産・食品分野への貢献、経済的効果等（インパクト） |

|  |
| --- |
| （２）事業化の核となる革新的な技術シーズ（詳しくは→Ⅲ-２（p.○～）） |
| ア　技術シーズの呼称 ※20文字程度で記載　※ 項目イ、ウについては、200～250文字程度で簡潔明瞭に記載してください。※ →（p.〇～）には、各項目の詳細内容が記載されているページ番号を記載してください。イ　技術シーズの内容（原理等）　ウ　技術シーズの新規性、先導性、競争優位性　 |

|  |
| --- |
| （３）研究開発（詳しくは→Ⅲ-４（p.○～）） |
| ア　研究開発全体の概要※ 各項目について、200～250文字程度で簡潔明瞭に記載してください。※ →（p.〇～）には、各項目の詳細内容が記載されているページ番号を記載してください。イ　研究開発全体の目標 |

|  |
| --- |
| （４）事業化の構想（詳しくは→Ⅲ-５（p.○～）） |
| ア　事業化する製品・サービス等の内容イ　ターゲットとする市場と市場規模、目指すシェア、産業に及ぼす影響・効果　※ 各項目について、200～250文字程度で簡潔明瞭に記載してください。※ →（p.〇～）には、各項目の詳細内容が記載されているページ番号を記載してください。ウ　事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）　エ　想定事業の優位性、独自の価値、競争力（他社の製品・サービスとの比較等）　 |

|  |
| --- |
| （５）その他（研究開発、事業化に関する強み等）（詳しくは→ p.○） |
| ※ 各項目について、200～250文字程度で簡潔明瞭に記載してください。※ → p.〇～）には、各項目の詳細内容が記載されているページ番号を記載してください。 |

（改ページ）

**２．研究課題の概要図**

本ページには、イラスト、写真、図表等を用いて、研究課題の全体像が体系的に理解できる資料（研究課題の概要図）を挿入してください。

（本ファイル上で作成いただくか、あるいは、パワーポイントのスライド１枚の添付等でも可です。）

* Ａ４で１ページ（厳守）。
* 縦向き、横向きのどちらでも可。
* 以下の内容が分かるように作成してください。

・タイトル（研究課題名、代表機関名／研究代表者名）

・背景・目的

（解決すべき課題や目指す方向性、事業化による経済的効果等）

・技術シーズ

・事業化のイメージ、競争優位性

・研究開発の内容・達成目標

（代表機関、共同研究機関の役割が分かるように）

・事業化による効果、産業等への貢献など

・事業化までの計画

（改ページ）

**Ⅲ　応募する研究課題の内容**

※ 適宜、図表等を用いて、分かりやすく記載してください。

※「１．背景・目的」は、１ページ以内で記載してください。

**１．背景・目的（研究開発テーマとの関連性）**（１ページ以内）

（１）農林水産・食品分野において解決すべき課題、ニーズ

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 選択した研究開発テーマにおける課題や具体的ニーズなど、研究開発テーマとの関連性が分かるように記載してください。

（２）解決の方向性と研究開発の必要性

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 既存技術やサービスの問題点等を例示しつつ、目指すべき事業化の方向性、その前段にある本研究開発の必要性を記載してください。

（３）本研究課題の目的

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（４）事業化による農林水産・食品分野への貢献、経済的効果等（インパクト）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（改ページ）

**２．事業化の核となる革新的な技術シーズ**（２ページ以内）

※適宜、 図表等も用いて、分かりやすく記載してください。

※「２．事業化の核となる革新的な技術シーズ 」は、２ページ以内で記載してください。

（１）技術シーズの呼称

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○技術

※ 20文字程度で、技術シーズの特徴を表すキャッチフレーズを記載してください。

例　○○○○による○○○○技術

例　○○○○のための○○○○技術

（２）技術シーズの内容（原理等）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 技術シーズの内容や特徴について、図表等も用いて具体的に記載してください。

（３）これまで行った研究開発、技術レベルの現状、技術的課題

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ これまでに実施した研究の成果等を踏まえ、現時点の当該技術のレベル（精度、確度など）や技術的な課題などについて、図表等も用いて具体的に記載してください。

（４）技術シーズの新規性、先導性、競争優位性

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 本応募技術シーズに関連する競合技術を具体的に挙げて、本応募技術シーズが優れている点についての理由や根拠を、比較表やデータ等も用いて具体的に記載してください。

※ 競合技術の方が優れている点についても示すとともに、本応募技術シーズの技術的課題等について記載してください。

（５）技術シーズに関係する知的財産等

　① 知的財産の取得状況

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 発明の名称（最新状況） | 番号、出願日等（出願、公開、登録のうち最新のもの） | 出願人 | 発明者 |
| 1 | ○○の装置（特許取得済） | 特許第△△△△号（登録日H△．△．△） | 株式会社XX | 生研次郎生研小次郎 |
| （概要）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 2 | △△の方法（審査請求中） | 特願××××－××××××（H△．△．△） | 生研三郎 | 生研史郎 |
| （概要）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 3 |  |  |  | ※ 青字の記載例を参考に、技術シーズに関係する知的財産の取得状況を記載してください。欄が不足する場合は、欄を追加して記載してください。※ 競争優位性を示すことができるもの等を記載してください。 |
| （概要）○○○○○○○ |

② 関連する研究論文、その他

1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募する研究課題に関する主要論文、研究発表について記載してください。

＜研究論文の記載例＞

1) ○○○○○他、「タイトル」、雑誌名、○巻○号、pp.○○、20XX

※ その他の研究発表については、上記に準じて記載してください。

2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（改ページ）

**３．応募フェーズの前段階フェーズの「達成目標」に対する達成状況**（２ページ以内）

※ 公募要領２(２)各フェーズの詳細 のとおり、応募（提案）内容は、前段階フェーズ（例：フェーズ１への応募の場合、前段階フェーズはフェーズ０）の達成目標を達成している必要があります。

※ フェーズ１への応募者は３－１、フェーズ２への応募者は３－２、事業化準備フェーズへの応募者はフェーズ３－３に記載し、該当しない項目は削除してください。（例えば、フェーズ１への応募者は、３－１を記載し、３－２、３－３は全削してください。）

※ フェーズ０への応募者は、本項目の記載は不要なので、３－１、３－２及び３－３を全削し、「フェーズ０のため記載なし。」の一文を記載してください。

※「３．応募フェーズの前段階フェーズの「達成目標」に対する達成状況」は、２ページ以内で記載してください。

**３－１　フェーズ０目標に対する達成状況　フェーズ１への応募者のみ**

（１）革新的な技術シーズの確立（実験室レベルの実証が済んでいる、実現可能性調査（FS）や概念実証（PoC）を実施できる技術レベル）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）想定する事業モデルを見据えた知財戦略の設定

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（３）対象となる魅力的な市場の選定と深掘り

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（４）事業化に向けたマイルストーン（FS、PoC、法人立上げ、資金調達、事業開始など）の設定

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**３－２　フェーズ１目標に対する達成状況　フェーズ２への応募者のみ**

（１）実現可能性調査（FS）、概念実証（PoC）を通して事業化に必要な技術的課題の明確化

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）FS、PoC を通した有望な事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）の構築

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（３）事業モデルを踏まえた知財戦略の確立

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（４）成長性が期待できる市場とその規模の把握

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**３－３　フェーズ２目標に対する達成状況　事業化準備フェーズへの応募者のみ**

（１）事業化に必要な研究開発（技術改良等）の完了

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）事業実施体制（法人設立を含む）の確立

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（３）具体的な事業計画の策定

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（４）具体的な顧客の選定

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（４）VC等からの出資の獲得

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（改ページ）

**４．研究開発の内容**（２～５ページ以内）

※ 適宜、図表等も用いて、分かりやすく記載してください。

※「４．研究開発の内容」は、２～５ページ以内で記載してください。

（１）本フェーズにおける研究開発全体の概要と目標（定量的な目標も記載）、各フェーズの　「研究開発の達成目標」との関係

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募フェーズにおける、研究開発全体の概要と目標を記載してください。

※ 目標は、各応募フェーズにおける「研究開発の達成目標」（下記参照）との関係が分かるように記載してください。

【研究開発の達成目標】

フェーズ０：革新的な技術シーズの確立（実験室レベルの実証が済んでいる、FSやPoCを実施できる技術レベル）

フェーズ１：FS、PoCを通して事業化に必要な技術的課題の明確化

フェーズ２：事業化に必要な研究開発（技術改良等）の完了

事業化準備フェーズ：PMFのために実施する、開発技術・製品等の事業化に向けた準備（技術改良等）の完了

（２）具体的な研究開発の内容

① 研究項目１：○○○○（※ 研究項目名を記載）

担当機関：○○○○○○○○○○○○

ア　研究開発の目的

※ 研究開発全体の目標を達成するのに必要な技術要素を「研究項目」として設定し、担当機関、目的、内容、目標等を記載してください。

※ 担当研究機関が複数ある場合は、役割分担を明確にしてください。

※ 役割分担が明確にならない記載（すべての研究項目を同じ複数機関が担当するなど）はしないでください。

※ 研究内容は、技術レベルの現状に加えて、研究開発内容を記載してください。

※ 達成目標は、定量的に測定できる目標を設定してください。

※ 必要に応じて図表等も用いて分かりやすく記載してください。

※ 研究項目数が３つ以上の場合、③研究項目３・・・と追加の上で記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

イ　内容と達成目標

ⅰ）２０２５年度

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

達成目標（定量的な目標）：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【定量的な目標の達成度を測る指標】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

ⅱ）２０２６年度

研究内容：

※ ⅱ）２０２６年度 の欄は、実施期間が２年間（２年度）の応募課題が記載してください。実施期間が１年間（１年度）の応募課題は記載不要なので、ⅱ）は項目ごと削除してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

達成目標（定量的な目標）：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【定量的な目標の達成度を測る指標】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

② 研究項目２：○○○○（※ 研究項目名を記載）

担当機関：○○○○○○○○○○○○

ア　研究開発の目的

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

イ　内容と達成目標

ⅰ）２０２５年度

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

達成目標（定量的な目標）：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【定量的な目標の達成度を測る指標】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

ⅱ）２０２６年度

研究内容：

※ ⅱ）２０２６年度 の欄は、実施期間が２年間（２年度）の応募課題が記載してください。実施期間が１年間（１年度）の応募課題は記載不要なので、ⅱ）は項目ごと削除してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

達成目標（定量的な目標）：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

【定量的な目標の達成度を測る指標】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

* 研究項目数が３つ以上ある場合は、上記に準じて項目建ての上、同様に記載してください。

（改ページ）

（３）研究開発の計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発項目（実施機関） | ２０２５年度 | ２０２６年度 |
| 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
| 研究項目１：○○○○○○（㈱○○○○） |  |  | 年度の研究開発目標を簡潔に記載する。他も同じ。○○○○○○○○○○ |  |  |  |  | ○○○○○○○○○○ |
| 研究項目２：○○○○○○（○○大学） |  |  |  | ○○○○○○○○○○ |  | ○○○○○○○○○○ |  |  |
| 研究項目３：○○○○○○○（国研○○機構） |  |  |  |  |  | ○○○○○○○○○○ |  |  |
|  |  |  |  |  | ※ 研究項目名、実施機関及び各研究項目の実施予定期間を**青矢印**で記載してください。また、青矢印の上部に年度の研究開発目標を簡潔に記載してください。※ 研究項目数に応じて、欄を追加／削除してください。 |  |  |  |

注１）実施期間が１年間（１年度）の応募者は、2025年度の計画のみ記載し、2026年度の欄には斜線を引いてください。

注２）青矢印は実施予定期間、青矢印上部の記載は年度の研究開発目標を示す。

（改ページ）

**５．事業化の構想**（２ページ以内）

※ 適宜、図表等も用いて、分かりやすく記載してください。

※「５．事業化の構想」は、２ページ以内で記載してください。

※ 本プログラムでは、事業化の内容についても審査の対象になります。

※ 現時点で想定している事業化の内容を記載してください。

※ 具体化されていない項目も含め、事業化に向けて取り組む必要がある課題等を記載してください。

（１）事業化する製品・サービス等の内容

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

※ 本応募で事業化を想定している製品やサービスの内容・性能・スペック等を具体的に記載してください。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（２）ターゲットとする市場と市場規模、目指すシェア、産業に及ぼす影響・効果

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

※ 国内、海外それぞれでどの程度の市場が存在するのか、ターゲットとなる市場規模を記載するとともに、目指す市場シェアを記載してください。

※ 事業化しようとする製品・サービス等が新たな市場を獲得することが、農林水産・食品分野の産業に及ぼす影響・効果について、具体的に記載してください。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（３）事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

※ フェーズ０、１への応募では「想定する事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）」、

　 フェーズ２への応募では「FS、PoCを通して構築した事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）」、

　　事業化準備フェーズでは、「確立した具体的な事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）」を記載してください。

※ 製品・サービス等について、誰に対してどのような価値を提供するのか、誰からどのように利益を上げるのかなど、自らの役割も含め簡潔に記載してください。

※ 必要に応じて図表等を作成の上、分かりやすく記載してください。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（４）想定事業の優位性、独自の価値、競争力（他社の製品・サービスとの比較等）

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

※ 事業化を想定している製品・サービス等について、競合する（競合が想定される）他社の製品・サービスとの比較表を用いて、自身の優位性や独自の価値を記載してください。（比較表の作成は必須）

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（改ページ）

**６．知財戦略**（１ページ以内）

※ 事業を成功に導くために取るべき知的財産に関する戦略について、適宜、図表等も用いて、分かりやすく記載してください。

※「６．知財戦略」は、１ページ以内で記載してください。

（１）知財戦略

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

（２）知財調査

① これまでの調査結果

|  |  |
| --- | --- |
| 調査対象 | 調査内容と結果 |
| （記載例）〇〇装置に関する知的財産権の状況 | （記載例）〇〇装置に関する先行技術調査をJ-PlatPat、XXXにて調査した結果、XXXXXXXXXであることが判明。このことについては、XXXXXXXXXやXXXXにより回避可能と判断している。 |
|  | （記載例）〇〇〇に関する○○○○を○○○により調査した結果、XXXXXXXXであることが判明。○○に関する○○をXXXXXからXXXXXXXに変更する予定である。 |
|  | ※ 事項数に応じて欄を追加/削除してください。 |

② 今後調査が必要な事項

|  |  |
| --- | --- |
| 調査対象 | 調査方針 |
| （記載例）〇〇〇装置に関する知的財産権の状況 | （記載例）〇〇〇装置に関する〇〇について、XXXXやXXXを明らかにするため、XXXXX年XX月頃までにXXXXXXXにより調査を行う予定。（○年○月～○年○月） |
|  | ※ 実施予定時期も記載してください。※ 事項数に応じて欄を追加/削除してください。 |
|  |  |

（改ページ）

**７．事業化に向けた取組**（２ページ以内）

※ フェーズ０への応募者は７－０、フェーズ１への応募者は７－１、フェーズ２への応募者は７－２、事業化準備フェーズへの応募者は７－３に記載し、該当しない項目は削除してください。（例えば、フェーズ１への応募者は、７－１を記載し、それ以外は全削してください。）

※ 適宜、図表等も用いて、分かりやすく記載してください。

※ プレ・テストマーケティングやテストマーケティング（いずれも無償）を実施する場合、この「事業化に向けた取組計画」に盛り込んでください。また、事業化準備フェーズにおけるテストマーケティング（無償）は必須ですので、具体的な製品・サービス、提供先を記載してください。詳細は、公募要領２（３）をご参照下さい。

※「７．事業化に向けた取組」は、２ページ以内で記載してください。

**７－０　事業化に向けた取組計画　フェーズ０への応募者のみ**

（１）本フェーズにおける事業化の取組全体の概要と目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募フェーズにおける、**事業化の取組全体**の**概要**と**目標**を記載してください。

（２）具体的な事業化の取組計画

① 想定する事業モデルを見据えた知財戦略の設定についての取組 《取組内容と目標》

　 担当機関：○○○○○○○○

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

② 対象となる魅力的な市場の選定と深掘りについての取組 《取組内容と目標》

　　担当機関：○○○○○○○○

　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

③ 事業化に向けたマイルストーン（FS、PoC、法人立上げ、資金調達、事業開始など）の設定についての取組 《取組内容と目標》

　 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ その他にも特筆すべき「具体的な事業化の取組計画」がある場合は、上記に準じて、項目立ての上、**取組内容と目標**を記載してください。

**７－１****事業化に向けた取組計画　フェーズ１への応募者のみ**

（１）本フェーズにおける事業化の取組全体の概要と目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募フェーズにおける、**事業化の取組全体**の**概要**と**目標**を記載してください。

（２）具体的な事業化の取組計画

① 想定する事業モデルに関するFS（フィージビリティスタディ）の取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ FSの実施計画（取組内容と目標）を具体的に記載してください。

② 想定する事業モデルに関するPoC（概念実証）の取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ PoCの実施計画（取組内容と目標）を具体的に記載してください。

③ FS、PoC を通した有望な事業モデル（ビジネスシステムと収益モデル）の構築に向けた取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ ①②に記載したFSやPoCの取組とともに、他に必要となる関連要素も含め、どのようにして有望と判断できる事業モデルに仕上げていくのかについて、その考え方・取組内容と目標を記載してください。

④ 事業モデルを踏まえた知財戦略の確立についての取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

⑤ 成長性が期待できる市場とその規模の把握についての取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ その他にも特筆すべき「具体的な事業化の取組計画」がある場合は、上記に準じて、項目立ての上、**取組内容と目標**を記載してください。

**７－２　事業化に向けた取組計画（FSやPoCを通して構築した事業モデルの実現に向けた事業実施体制の整備や資金調達等）　フェーズ２への応募者のみ**

（１）本フェーズにおける事業化の取組全体の概要と目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募フェーズにおける、**事業化の取組全体**の**概要**と**目標**を記載してください。

（２）具体的な事業化の取組計画

① 事業実施体制（法人設立を含む）の確立についての取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 法人設立（予定時期等）、人員強化（研究員に限らず事業を行う企業としての体制整備）などの具体的内容や実施時期等、取組内容と目標を記載してください。

② 具体的な事業計画の策定についての取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

③ 具体的な顧客の選定についての取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

④ ベンチャーキャピタル（VC）等からの出資の獲得についての取組 《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ VC等からの資金調達計画（取組内容と目標）について記載してください。

※ その他にも特筆すべき「具体的な事業化の取組計画」がある場合は、上記に準じて、項目立ての上、**取組内容と目標**を記載してください。

**７－３　事業化に向けた取組計画　事業化準備フェーズへの応募者のみ**

（１）本フェーズにおける事業化の取組全体の概要と目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ 応募フェーズにおける、**事業化の取組全体**の**概要**と**目標**を記載してください。

（２）具体的な事業化の取組計画

　①　PMFのために実施する取組《取組内容と目標》

担当機関：○○○○○○○○

※PMFのために実施する取組の目的、目標と内容を記載してください。

※PMFのために実施する取組を具体的に記載してください。（具体的なテストマーケティング（無償）先、テストマーケティングに使う製品・サービス名・内容、検証・実証の項目・内容等）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

②　研究開発成果を基にした事業の開始準備完了についての取組《取組内容と目標》

 担当機関：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※事業の開始準備を完了するための事業面の取組（詳細な市場調査、販促戦略の策定、これらの結果を踏まえた成果の情報発信等）について、記載してください。

※ その他にも特筆すべき「具体的な事業化の取組計画」がある場合は、上記に準じて、項目立ての上、取組内容と目標を記載してください。

（改ページ）

**８．研究開発成果の事業化までの計画**

（１）年度ごとの取組計画

（注）本応募に係る研究開発成果の事業化について、今後の主要な取組計画を年度ごとに記載。【 】は主要なマイルストーン及び目標達成時期。

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 取組内容と達成目標 |
| 2025年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　対象となる魅力的な市場の選定】 |
| 2026年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　想定する事業モデルを見据えた知財戦略の設定】 |
| 2027年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　FS、PoCを通した事業モデルの構築】 |
| 2028年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　△△の試作モデル完成】 |
| 2029年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　法人設立】【○年○月　VCからの資金調達】 |
| 2030年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　事業開始】 |
| 2031年度  | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　売上▲▲円達成】 |
| ○○年度 | ・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○・○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○【○年○月　○○○○○】 |

※ 本応募内容の事業化について、年度ごとに、今後の主要な取組計画（年数は自らの計画に応じて設定）を記載してください。

※ 主要なマイルストーン及び目標達成時期を【　】で記載してください。

（２）その他特記事項（事業化の実現に向けて特筆すべき事項、課題等があれば記載）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○